

鬼怒川・小貝川流域治水協議会 上下流交流会 実施報告

実施目的: 鬼怒川、小貝川の流域治水協議会は、「鬼怒川・小貝川上流流域治水協議会と鬼怒川・小貝川下流流域協議会に分かれており、流域治水プロジェクトで実施予定のメニューを先行している自治体の状況を確認することにより、他の自治体の参考となるように企画したものである。

実施日 : 令和3年11月5日(金) 参加組織: 関東農政局、栃木県、茨城県、18自治体 / 22自治体中

第1部 : 一級河川 五行川 芳賀遊水地見学 (栃木県)

第2部 : 会場 真岡市青年女性会館における意見交換等



バス乗車前 受付風景
新型コロナ対策(自動体温測定・消毒機)



芳賀遊水地 左岸遊水地(約9ha)
全景を見ながら説明



芳賀遊水地 左岸遊水地(約9ha)
越流堤を見ながら説明

○主な意見、質問等

- ・栃木県より遊水地の概要について説明が行われた。
- ・参加自治体より整備にあたり、苦勞した点がどのような箇所かとの質問に対し。
→地元より迷惑施設(水が入る状況を見ると怖い)の認識があり、地元芳賀町の協力で、周辺に桜を植樹するなど親水性を持たせる取組を実施しており、町と一体となって調整池整備を進めているとの回答あり。



宇都宮市 説明



高根沢町 説明



関東農政局 説明

①宇都宮市における田んぼダム取組説明(宇都宮市)

- ・「宇都宮市総合治水・雨水対策基本計画(R3.5策定)」に基づく「貯める対策」の1つとして説明
- ・田んぼダム研究コンソーシアムにおける土地改良区や大学との連携、役割について説明
- ・農家向けの支援策の説明、田んぼダムPR動画の視聴、田んぼダム排水調整マスの展示
- ・他の自治体より、農家向け支援策や田んぼダムの効果分析を行った新潟大学との連携についての経緯について質問あり。
→先行して田んぼダムの普及に取り組んでいた小山市に新潟大学と宇都宮大学を紹介いただいた。

②高根沢町スマート農業説明(高根沢町)

- ・スマート農業に関する説明、企業との連携やスマート農業実施農家の選定基準などについて説明。
- ・他の自治体より、企業と連携している水位センサー、給水ゲートの提供について、装備品の盗難など具体的な質問があった。
→水位センサー、給水ゲートの提供は、連携企業が行っており、企業が保険をかけている。また、農閑期は取り外して倉庫等に保管しているとの回答あり。

③補助金制度説明(関東農政局)

- ・関東農政局より、多面的機能交付金における水田の雨水貯留機能強化に対する加算措置や、令和4年度予算で概算要求している田んぼダム推進の為に補助金制度の説明があった。
- ・多面的機能交付金を活用している自治体から活用の際の目的選定の仕方などの具体的な質問、田んぼダムの実績面積を拡大していくための補助金活用の考え方や宇都宮市の補助金との違いについて等の質問があった。
→田んぼダムは効果が生じる下流域を有している上流、中流部で実施することも重要との考え方や、宇都宮市の補助(50,000円程度)に対し多面的機能支払交付金は、既活動組織向けの田んぼダムを実施することにより生じる農家のかかり増し経費に対する加算措置(10aで400円)との回答があった。

新型コロナ対策を実施しながら、今回の上下流交流会を実施した。参加した自治体の皆さんより上下流の交流を行う事により、流域治水プロジェクトの具体的な手法が見えてくるので有用だとの意見が多く寄せられ、今後も有用な情報について関係機関で情報共有を図っていきたいと考えている。